

MKSAP 感染症勉強会

症例から学ぶ 感染症診療

2026年 10月開催

全4回

10/2

10/16

10/23

10/30

10/2

Case 1

皮膚病変から考える

45歳女性。胸の無痛症皮膚病変で受診。
皮革製品を作るため、動物の皮を加工する仕事をしている。



最も考えられる診断はどれか？

10/16

Case 2

人工呼吸器関連肺炎

43歳男性。交通事故後に挿管・人工呼吸管理。
4日目に発熱、酸素需要と吸引回数が増加し、
黄色の粘稠痰と左下葉浸潤影を認める。
MRSA鼻腔PCR陰性。



経験的抗菌薬治療として最も適切なものは？

- A. セフェピム
- B. セフェピム+シプロフロキサシン
- C. セフェピム+ダプトマイシン
- D. セフェピム+バンコマイシン

10/23

Case 3

市中肺炎の起因菌

59歳男性。重症市中肺炎による呼吸不全でICU入院。
喀痰検体のグラム染色所見から起因菌を推定。



最も可能性が高い原因微生物はどれか？

- A. Moraxella catarrhalis
- B. Pseudomonas aeruginosa
- C. Staphylococcus aureus
- D. Streptococcus pneumoniae

10/30

Case 4

重症市中肺炎の診断

56歳女性。3日間の湿性咳嗽、発熱、呼吸困難。
低血圧が輸液後も持続しICUへ。
胸部X線で右中葉 consolidation。
インフルエンザ・SARS-CoV-2迅速検査陰性。



次に行う診断検査として最も適切なものは？

- A. 胸部CT
- B. プロカルシトニン値測定
- C. 呼吸器ウイルスパネル
- D. 喀痰症グラム染色・培養



2026年10月 2日・16日・23日・30日（各金曜日）17:30~

症例を読み、診断/治療戦略をみんなで考える勉強会です。

医学生・研修医・若手医師・医療スタッフの皆さま、ぜひご参加ください。

連絡先：総合感染症科・感染症医療人育成センター

kansen@ml.nagasaki-u.ac.jp

